

# 高速鉄道電力用電源装置蓄電池更新（その２）

特記仕様書

平成２７年　９月

京都市交通局

電　気　課

## 第 1 章 総則

(適用)

- 1 本仕様書は、京都市高速鉄道の電力用電源装置蓄電池（以下「本装置」という）更新に適用する。

(当事者)

- 2 本仕様書において、「甲」とは京都市交通局をいい、「乙」とは請負人をいう。

(納入)

- 3 本装置の納入期限及び納入場所は以下のとおりとする。

(1) 納入期限

平成 28 年 3 月 31 日

(2) 納入場所

ア 京都市交通局東西線醍醐駅電気室

京都市伏見区醍醐高畑町 3 0 番地の 1

イ 京都市交通局東西線小野駅電気室

京都市山科区小野西浦 6 番地の 3

ウ 京都市交通局東西線柳辻駅電気室

京都市山科区柳辻草海道町 3 8 番地の 1 1

エ 京都市交通局東西線二条城前駅電気室

京都市中京区二条城町 5 4 1 番地

オ 京都市交通局烏丸線北大路変電所

京都市北区小山北上総町 4 9 番地の 2

(関係法規の適用)

- 4 本装置の製作、据付及び納入等に関して、関係法令を遵守するものとする。

(1) 京都市交通局契約規程

(2) 鉄道事業法

(3) 労働基準法

(4) 電気事業法

(5) 消防法

(6) 労働安全衛生法

(7) 建築基準法

(8) 廃棄物処理法

(9) その他関係法令

(疑義)

- 5 本仕様書に明記されていない事項及び不明な事項については、乙は、甲と十分協議を行い甲の解釈及び指示に従うものとする。

(変更)

- 6 契約後においても、甲が必要と認めたときは、多少の変更を行うことができるものとする。

(特許及び実用新案)

- 7 乙は、本装置において、国内外の特許、実用新案及び意匠並びにその他権利上の問題が生じたときには、これの解決に当たるとともに、これらに関するすべての費用及び損害を負担し、甲にいかなる支障も及ぼしてはならない。

(協議)

- 8 乙は、本装置の設計、製作及び据付に当たり、甲と十分な協議を行い、協議事項についてその都度、協議録を提出し承認を得ること。

(製作)

- 9 乙は、本装置の設計、製作及び据付に当たり、甲に承認図（製作仕様書、機器製作図、機器据付図等）を提出し承認を得ること。

(提出図書)

- 10 乙は、甲の指示する様式により次の図書を提出すること。

- |                 |     |
|-----------------|-----|
| (1) 協議録         | 1 部 |
| (2) 承認図         | 2 部 |
| (3) 物品検査申請書     | 2 部 |
| (4) 納品書         | 1 部 |
| (5) 完成図書        | 3 部 |
| ・ 製作仕様書         |     |
| ・ 機器製作図         |     |
| ・ 機器据付図         |     |
| ・ 検査成績書         |     |
| ・ 写真            |     |
| ・ 取扱説明書他        |     |
| (6) その他甲の指示する図書 | 2 部 |

(試験及び検査)

- 11 本装置は、甲の立会の下に試験及び検査を行い、これに合格しなければならない。なお、試験及び検査に必要な資材及び設備等の提供並びにこれらに要する費用は、すべて乙の負担とする。

(保証期間)

- 12 本装置の納入後、１年以内に機器の不具合により生じた破損及び故障箇所は、直ちに無償で取替えること。

(官公庁等への手続き)

- 13 関係官庁及びこれらに準じる関係機関等に対する出願、手続きは、乙の負担において代行すること。また、検査受検時には協力をすること。

(取扱説明)

- 14 本装置の引き渡しに際し、甲の職員に対して機器の操作方法等を習得させるため、必要資料を準備したうえ、技術者により説明すること。なお、説明会は必要に応じ、複数回実施することもある。

(廃棄処理)

- 15 乙は、廃棄物となるものについては適正に処理を行うこと。

## 第2章 装置仕様

(概要)

- 1 各地下鉄駅舎・変電所に設置している電力用電源装置蓄電池を同機能を有する蓄電池に交換するものである。本装置に交換する際、負荷への給電を継続するため、予備の蓄電池・電源を準備すること。

(構成)

- 2 本装置は、次のもので構成されるものとする。

(1) 蓄電池（既設）

| 所名       | 負荷用途  | 蓄電池    |          |     |
|----------|-------|--------|----------|-----|
|          |       | 製造者    | 型式       | セル数 |
| 醍醐駅電気室   | 非常照明用 | GS ユアサ | SNS150Ah | 54  |
| 小野駅電気室   | 非常照明用 | GS ユアサ | SNS150Ah | 54  |
| 榊辻駅電気室   | 非常照明用 | GS ユアサ | SNS150Ah | 54  |
| 二条城前駅電気室 | 非常照明用 | GS ユアサ | SNS300Ah | 54  |
| 北大路変電所   | 操作用   | GS ユアサ | SNS200Ah | 54  |

(2) 蓄電池（新設）

| 所名       | 負荷用途  | 蓄電池            |     |
|----------|-------|----------------|-----|
|          |       | 型式             | セル数 |
| 醍醐駅電気室   | 非常照明用 | MSE 長寿命形 150Ah | 54  |
| 小野駅電気室   | 非常照明用 | MSE 長寿命形 150Ah | 54  |
| 榊辻駅電気室   | 非常照明用 | MSE 長寿命形 150Ah | 54  |
| 二条城前駅電気室 | 非常照明用 | MSE 長寿命形 300Ah | 54  |
| 北大路変電所   | 操作用   | MSE 長寿命形 200Ah | 54  |

注 北大路変電所については54セル中、No.2, 4, 5, 6, 7, 10, 21, 22, 31, 35を除く44セルを交換するものとする。

(検査)

**3 本装置の納入に先立ち、次の検査を行うものとする。**

(1) 現状点検

ア 蓄電池キャビネット(収納箱)内温度の測定

イ 蓄電池総電圧の測定

ウ セル電圧・温度の測定

(2) 外観目視点検

ア 電槽，蓋，接続部，内部等の状態

(3) 清掃の実施

(4) 接続部の増締め

(撤去)

**4 各地下鉄駅舎・変電所の蓄電池・整流器部品を撤去する。**

(1) 電力用電源装置蓄電池交換に伴い，不要となった蓄電池等 1 式

(特記事項)

**5 施工上の注意**

(1) 駅舎での作業は，原則として，土曜日，日曜日及び祝日を除く平日とする。また，地下鉄の営業に支障する作業は，営業終了後の夜間とする。作業時間は，原則として，以下のとおりとする。

昼 間 9：00 ～ 17：00

夜 間 24：35 ～翌 4：30 (月曜日 ～ 木曜日)

夜 間 25：05 ～翌 4：30 (金曜日)

(2) 地下鉄の営業中に作業を行う場合，必要に応じて誘導員を配置すること。

(3) 本仕様書に明記されていない事項でも，本装置の性質上当然必要と認められるものは，乙の責任において，設計及び製作を行うものである。